

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

1 月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「ジョウビタキ♂ ヒタキ科」
冬鳥。全長 14cm。背中中の白い斑点が特徴。「ヒッヒッ」とさかんに縄張り宣言の声を出す。



「メジロ メジロ科」
留鳥。全長 12cm。雌雄ほぼ同色。鮮やかな黄緑色の体と、目の周りの白いアイリングが特徴。



「ヒドリガモ♂ カモ科」
冬鳥。全長 49cm。顔や胸が茶褐色で、額から頭頂にかけてのクリーム色がよく目立つ。



☆「クロガネモチ モチノキ科」☆
花の少ない冬を彩る庭木として人気。常緑だが寒さと乾燥で全ての葉を落とすこともある。



☆「オオイタビ クワ科」☆
暖地の海岸近くに生える常緑つる性の木本。イチジクの仲間。壁面緑地として植栽している。



「オオキンカメモシ キンカメモシ科」
体長 20-25mm。集団越冬することで知られる南方系の大型カメモシ。大きめの葉の裏を覗いてみよう。



☆「アオノクマタケラン ショウガ科」☆
湿った林下に生える常緑多年草。沖縄に生えるゲットウの仲間。和歌山県絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。



「ツルソバ タデ科」
暖地の海岸近くに生えるつる性の多年草。花や実が蕎麦に似ていることから名付けられた。



「ハマアザミ キク科」
温帯の海岸に生える多年草。根は食用にでき別名ハマゴボウとも。葉は厚く光沢があり鋭いトゲがある。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

駐…駐車場、駒…駒ヶ崎で観察することができます。

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
皆さまのお越しを職員一同お待ちしております。 令和七年 元旦

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2025 年 1 月前半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

冬版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒埼灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ



千尋の浜

(上地の浜)

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス



休暇村
南紀勝浦

外の取



至 R42

上野展望台

防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブコウジ

ヤブツバキ

ヒサカキ

モチノキ

ヤマモモ

ハゼノキ
(メジロがよく食べに来ます)

ヒサカキ

シロダモ

ウバコリ

ツルコウジ

竹林

ハマオモト
ハマダイコン
ハماغウ
ハマナタマメ

ハムルトノキ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

自然観察の森

赤灯台



タイミンタチバナ

スタジイ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチノキ

モチツツジ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

駒埼灯台

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

オオキンカメムシ

地玉(じこく)の浜

松尾展望広場



凡例

- P 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段